

# 中学生のための 「慰安婦」展+教科書

教科書は  
誰が選ぶの？

「慰安婦」は  
教科書にどう  
書かれているの？

2022年1月15日(土)～2022年11月末

中学社会科教科書から「慰安婦」に関する記述が消されるなか、2007年に安倍首相（当時）は「軍による強制連行はなかった」と発言しました。そこでwamでは、誰にでも解りやすい展示を目指し「中学生のための『慰安婦』展」を開催しました。好評だったこの展示は、第二次安倍政権下の2014年にもアップデートして展示しました。

3回目となる今回の特別展は、教科書問題を“プラス”しています。

日本軍「慰安婦」については、1997年度から使われた中学社会科（歴史的分野）の教科書では7社すべてに記述がありました。それから25年、現在の記載はほんのわずかです。一方、高校の教科書では、1990年代半ばから多くの教科書で「慰安婦」が言及されてきました。高校の地理歴史・公民科の教科書は種類も多くて複雑ですが、「慰安婦」記述を徹底調査。執筆者や教科書会社の苦心の跡も見えてきます。

しかし、2021年4月、政府は高校の教科書もターゲットにするようになりました。

これまで教科書で「慰安婦」制度がどのように記述されてきたのかを確認し、記述の変遷から見える日本の教科書検定制度の問題点を伝えます。

## 主な展示内容

### 展示室 日本軍「慰安婦」制度とは

- ・日本軍「慰安婦」制度の基本のキ
- ・各国・地域ではじめに名乗り出た被害女性たち

### 展示壁 日本の教科書制度と日本軍「慰安婦」の記述

- ・教科書ができるまでとその問題点
- ・中学校・高校教科書の「慰安婦」記述
- ・略年表 国家管理がすすむ教科書

